

日野町告示第35号

令和2年第5回日野町議会臨時会を次のとおり招集する。

令和2年7月22日

日野町長 塚 田 淳 一

1. 期 日 令和2年7月29日
2. 場 所 日野町議会議場
3. 付議事件 ①建設工事請負契約の締結について  
②令和2年度日野町一般会計補正予算（第3号）

---

○開会日に応招した議員

中山 法 貴	梅 林 敏 彦
山 形 克 彦	金 川 守 仁
松 尾 信 孝	中 原 信 男
安 達 幸 博	佐々木 求
竹 永 明 文	小 谷 博 徳

---

○応招しなかった議員

な し

---

---

## 第5回 日野町議会臨時会会議録（第1日）

令和2年7月29日（水曜日）

---

### 議事日程

令和2年7月29日 午前10時開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- （1）議会関係の報告（議長）
  - （2）一般行政報告（町長）
- 日程第4 議案第41号 建設工事請負契約の締結について
- 日程第5 議案第42号 令和2年度日野町一般会計補正予算（第3号）
- 日程第6 議員派遣の件
- 

### 本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- （1）議会関係の報告（議長）
  - （2）一般行政報告（町長）
- 日程第4 議案第41号 建設工事請負契約の締結について
- 日程第5 議案第42号 令和2年度日野町一般会計補正予算（第3号）
- 日程第6 議員派遣の件
- 

### 出席議員（10名）

1番 中山法貴	2番 梅林敏彦
3番 山形克彦	4番 金川守仁
5番 松尾信孝	6番 中原信男
7番 安達幸博	8番 佐々木 求



番、佐々木求議員の2名を指名いたします。

---

## 日程第2 会期の決定

○議長（小谷 博徳君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、議会運営委員会の答申のとおり、本日の1日間にいたしたいと思っております。これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は、本日の1日間と決定いたしました。

---

## 日程第3 諸般の報告

○議長（小谷 博徳君） 日程第3、諸般の報告を行います。

本町の監査委員から、第4回定例会以後に実施された地方自治第235条の2の規定による例月出納検査の結果について報告がありました、別紙写しを配布し報告といたします。

次に議会関係について報告いたします。

6月22日、29日、7月13日には議会だより125号発行のため議会広報常任委員会を開催しています。

6月26日、日野町社会福祉協議会、評議委員会に松尾議員、梅林議員が出席いたしました。

同日、日野郡議員研修会打ち合わせ会に議長、副議長が出席いたしました。

6月30日に西部町村議会議長会臨時総会が開催され議長が出席しました。

7月6日、庄原市で開催された地域高規格道路江府三次線建設促進期成会総会に議長、副議長が出席しました。

7月21日、県町村議会議長会定期総会に議長が出席しました。

7月22日、議会全員協議会及び議会改革特別委員会を開催しております。

続きまして、一般行政報告を埴田町長が行います。

埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 令和2年第4回議会定例会以降の一般行政報告をいたします。

まず、義務教育学校新設に係る住民説明会についてご報告いたします。6月23日、26日、7月2日、8日の4回義務教育学校新設に係る説明会を日野町公民館及び文化センターを会場に開催し述べ66名の保護者、住民の皆様にご参加いただきました。会では義務教育学校とはどの

ような学校なのか、何故義務教育学校を新設することとしたのか、今後の日野町教育についてご説明申し上げ、その後参加者の皆様からご質問、ご意見を頂戴いたしたところでございます。参加者の皆様からは今後の黒坂小学校や日野中学校の扱いについて、学校がなくなった後の地域の活性化について。さらには教育課程の内容について今後の議論への保護者や住民の意見反映の方策についてなど多岐にわたりご意見をお聞かせいただきました。今後は、校舎建設検討委員会、教育課程検討委員会、開校準備委員会の3つの委員会を組織し義務教育学校開校に向けて準備を進めてまいります。併せて校舎の校地の跡地利用につきましても、検討委員会を立ち上げて検討を進めてまいりたいと考えております。

続いて7月6日、広島県庄原市において令和2年度地域高規格道路江府三次線建設促進期成会総会が開催されましたので、その概要を報告いたします。議案といたしましては令和元年度事業報告及び収支決算。令和2年度運動報酬及び収支予算、負担金の決定など4議案が提案され原案のとおり承認されました。事業の進捗状況を申し上げますと、鳥取県が施工します江府道路の佐川から武庫までの4.1kmにつきましては、今年度は久連トンネルの工事着手にあたって近傍にある導水路の健全度事前調査や宮ノ谷トンネルと久連トンネルとの間の改良工事を行う予定でございます。令和元年度末の進捗率は32%でございます。また、国土交通省の直轄権限代行区間であります鍵掛峠道路、これも平成17年度から代行業業として着手されており、本年度は道路改良や橋梁下部工事をするようになっております。引き続き全線の早期完成に向けて鳥取、広島両県の関係市町が一体となって積極的に促進を図る旨の決議がされたところでございます。

続いて、緊急事態発生時における廃棄物処理に関する協定締結についてご報告いたします。7月28日新型コロナウイルスを始めとする感染症の拡大や、災害等によりごみ処理施設が停止する緊急事態が発生した際に、ごみ処理を適正かつ迅速に行えるよう境港市に本社がある三光株式会社と協定を締結いたしました。この協定により可燃ごみ処理のくぬぎの森及び、不燃ごみ処理のリサイクルプラザが不測の事態により処理困難となった場合に処理施設を有する三光株式会社でごみ処理が可能となり、緊急時のごみ処理施設を確保することができます。以上報告でございます。

○議長（小谷 博徳君） 以上で、諸般の報告を終わります。

---

#### 日程第4 議案第41号

○議長（小谷 博徳君） 日程第4、議案第41号、建設工事請負契約の締結についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） ただいま上程いただきました議案第41号、建設工事請負契約の締結について御説明申し上げます。

議案書を御覧ください、これは日野町デジタル防災行政無線施設整備工事に係る工事請負契約について、予定価格が5000万円以上であることから地方自治法第96条第1項第5号及び、日野町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の既定により議会の議決を求めるものでございます。契約の方法は指名競争入札によるもの、契約金額は2億1,758万円契約の相手方は鳥取県鳥取市西品治字田島前ノニ816番地1株式会社中電工鳥取統括支社執行役員支社長二反田正克でございます。ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（小谷 博徳君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

6番、中原信男議員。

○議員（6番 中原 信男君） ただいま町長の方からありました、工事契約の締結についてで、この金額がですね、2億1,758万円ですかこの落札率が全員協議会の場で71%という報告がありました。3億円近い工事予定のやつが9,000万安くなったその安くなったから良いというわけではないんですがその要因と。

もう一つこれに関連しましてね、本日配布していただいた入札結果。各課のやつを一読してみました、その中でこのデジタル防災無線の整備に関わる管理業務の委託料。これ当初の設計金額が744万7,000円約750万これがですね、220万落札率は29.5%これもですね安くなったから良いという理解では駄目じゃないかなと思うんですよ。というのは、ここまで安くなるという要因は本町自体の当初の見積もりが非常に甘いんじゃないかというふうに私は理解するんだけど、そこら辺の要因を今後充分ね、どういう事業においても検討してもらわなきゃいけないんだけど。この2つのことについて私は説明を求めたいんだけど、まず最初に71%の要因、それと管理業務が何故29.5%になったのかその辺の説明を町長よろしく願います。

○議長（小谷 博徳君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 日野町のデジタル防災行政無線に係る管理関係そして工事の関係の落札率が低いその要因ということでございますので、具体のものでございますので担当課長の方から答えさせます。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） ご質問にお答えしたいと思います、先にですね管理業務委託の方からご説明させていただきたいと思います。落札率29.5%ということでございますけれどもここに指名をいたしました業者3社上がっておりますけど、この中で落札した業者は実は基本設計をした業者でございます。基本設計をした業者につきましてもこの指名業者の中に含めまして入札したわけでございますけれども、つまり基本設計をするという段階であらかたの現地調査でありますとかそういったところが既になされていると、そういった有利があつて金額としては入札金額としては下がったものというふうに思っております。それから本体工事の方、落札率が71.5%下がったということでございますけれども、これにつきましてはですね何が原因でそれだけ下がったのかということが明確にわかっているわけではございませんが、今回指名さしていただきました業者数15という近代本町で行う指名の数としてはかなり多いと思います。それから本町では最低価格の制限額これも設けていないというところも一つの要因になろうかなというふうに思っております、以上です。

○議長（小谷 博徳君） 6番、中原信男議員。

○議員（6番 中原 信男君） ただいま総務課長の方から2つのことについて説明がございました。私はですねこの今の説明は非常に危ういと思う、何故ならばねデジタル防災無線の設計工事委託業者が当初の基本設計の業者であつて、そこから750万という数字が出てきてそれがこういう形になったということは、ある意味部署内でもう少しここを精査せんと業者の方から提示された金額がどういう委託設計で来たとしてもそれが丸呑みせにやいけんようなこととなりますよこれから、もうちょっと勉強していかんと。

それともう一つ言いたいのは、ある意味本体工事の入札者が15社で多かつたと、その業者が多い関係でその価格が競争によって最低制限価格も無くこういう金額になったと言われるけども、その点も十分にやはり町の方で把握をしてこういう内容で8,000万9,000万予定よりか下りましたということを明確に説明してもらわないと行けないと思う。だから今それをすべて出せというわけにもいきませんのでね、今後の反省材料としてきちっと当初の計画から業務委託の内容まで精査してやっていただきたいということを申し上げて質疑を私は終わります、答弁ありません。

○議長（小谷 博徳君） 他にありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質問がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

[討論なし]

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより日程第4、議案第41号、建設工事請負契約の締結についての採決を行います。

この採決は起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第41号は、原案のとおり可決されました。

---

### 日程第5 議案第42号

○議長（小谷 博徳君） 日程第5、議案第42号、令和2年度日野町一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） ただいま上程いただきました議案第42号、令和2年度日野町一般会計補正予算（第3号）について御説明申し上げます。

議案書を御覧いただきたいと思います。この補正予算は、歳入歳出それぞれ1億8,502万5,000円を追加し、予算総額を42億3,357万4,000円とするものでございます。補正額等は2ページから3ページにかけて、第1表歳入歳出予算補正を御覧いただきたいと思います。この度の補正予算は、補正額1億8,502万5,000円のほとんどを新型コロナウイルス感染症対策の事業にあてるものでございますが。長引くことが予想されるコロナウイルスとの闘いを想定しこれまでの緊急的な感染防止対策、生活支援経済支援策を拡充しつつ地域経済の回復のための需要喚起策、コロナと共にある暮らしの定着の中で変容するであろう新たな観光戦略を盛り込んだ予算となっております。

まず、感染拡大防止対策では小中学校を始めとする公共施設や避難所で使用する自動体温感熱装置他、感染防止のための経費。介護保険事業所が行う感染予防対策に対する補助金、再度の感染拡大期に備え住民の皆様に配布する不織布マスクの購入費、休業要請を行った場合の協力金。さらに、お出かけ時間が少なくなっている方のフレイル対策事業費など5,652万1,000円を計上しております。経済対策では事業継続支援策として日野町版持続化給付金事業、日野町版家賃支援給付金事業、地域経済の回復施策として2,000円で5,000円ぶんの商品券が購入できるプレミアム商品券事業。新たな産業構造、観光戦略として町内周遊型イベント日野キ



ューピットキャンペーン事業やサイクルツーリズムの推進。キャンピング環境の整備を行う、遠くへ行くことだけが旅じゃない域内観光推進事業など、併せて9,409万7,000円を計上しております。生活支援では、国の特別定額給付金の支給対象とならない令和2年4月28日以降に生まれられた子供さんに対し、一人10万円を支給する日野町版新生児特別定額給付金支給事業。一人親世帯及び障害児養育世帯に国の特別給付金に上乗せして給付する日野町一人親家庭および障害児養育家庭への生活支援給付金など642万円。教育支援では親の元を離れ学生生活を送る大学生等を支援する、大学生等学生生活支援給付金支給事業や小中学校の保護者への支援として8月以降の教材費と学校給食費を町費で賄う事業として、1,571万5,000円を計上しております。

その他には、住民の皆様や県外から来訪される皆様への情報発信として役場前に電光掲示板の設置、分散勤務のための庁舎山村開発センター内LAN整備工事などを計上しております。詳細につきましては総務課長から説明させていただきますのでご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） 議案第42号、令和2年度日野町一般会計補正予算（第3号）の内容について御説明をいたします。

4ページの歳入歳出補正予算事項別明細書につきましては御覧をいただきたいと思います。5ページ歳入について御説明いたします、国庫支出金、国庫補助金は合計で1億6,724万4,000円の増額です。内訳は、総務費補助金が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億6,232万5,000円、民生費補助金は母子家庭等対策費補助金353万8,000円、教育費補助金は学校保健特別対策事業費補助金138万1,000円の増額です。県支出金、県補助金、教育費補助金は鳥取県学校家庭地域連携協力推進事業費補助金19万3,000円の増額です。繰入金、財政調整基金繰入金は今回の補正予算に伴い不足する財源として558万8,000円を繰り入れ、諸収入、雑入はプレミアム付き商品券売り払いの収入として1,200万円を計上しております。

次に、歳出について御説明をいたします6ページを御覧いただきたいと思います。議会費は議場などで使用いたします飛沫防止用アクリル板の購入費用23万1,000円を計上しております。総務費、総務管理費、財産管理費は庁舎前屋外電光掲示板の設置に伴う測量設計委託料及び工事請負費併せて1,154万2,000円を計上し、企画費は義務教育学校設置に伴う黒坂小学校及び日野中学校の跡地利活用検討委員会に係る委員等報奨金と移動販売を行う事業者へ移動販売車のコロナウイルス対策として、オゾン脱臭機の購入費併せまして50万8,000円の増

額でございます。防災費は避難所や避難移動時などの感染防止及び避難所でのプライバシー保護のための物資や感染拡大期、市販マスクが流通しなくなった時に住民の皆様にお配りするための備蓄マスク。公共施設や各種イベント避難所で使用いたします非接触の自動体温感熱装置など購入するための費用として消耗品費、備品購入費併せて2,494万2,000円の増額でございます。民生費、社会福祉費、社会福祉総務費は1,994万6,000円の増額で、委託料は外出介護予防教室運営事業及びフレイル評価システム導入に係る委託料でございます。負担金補助金及び交付金は、新型コロナウイルス感染症予防対策を行う介護保険事業所に対する補助金といきいき100歳体操を実施するために必要な備品等の購入をする団体に対する補助金。扶助費は保護者と離れて学生生活を送っている大学生などを支援する生活支援給付金でございます。そのほか、各事業に要する消耗品費及び通信運搬費を計上いたしております。

次に7ページ、社会福祉施設費は43万6,000円の増額です。これは老人憩の家と隣保館の新型コロナウイルス感染症対策の備品として、それぞれにハンディサーモグラフィーを購入するものでございます。児童福祉費、児童福祉総務費は172万4,000円の増額です。需用費は日野っ子保育所のコロナ感染症対策に係る消耗品費、役務費は日野町新生児特別定額給付金支給事業に係る郵券料、備品購入はAI搭載非接触温度センサー等日野っ子保育所のコロナ感染症対策に係る備品の購入費でございます。負担金、補助及び交付金は国の特別定額給付金の支給対象とならない令和2年4月28日以降に生まれた子供に対し、町独自の制度日野町新生児特別定額給付金支給事業として交付金を支給するものでございます。母子福祉費は、541万9,000円の増額です、これは国の事業として行う一人親世帯臨時特別給付金事業と町独自事業として一人親世帯への上乗せ給付と障害児を養育している世帯に対しても給付を行うひとり親家庭及び障害児養育家庭への生活支援給付事業に要する経費を計上するもので、内訳といたしまして消耗品費、郵券代などの役務費、一人親世帯臨時特別給付金事業に係るシステム改修の電算委託料と負担金及び交付金は、一人親世帯臨時特別給付金事業、一人親家庭及び障害児養育家庭への生活支援給付金事業それぞれ給付金を計上しております。

次に8ページにかけて、衛生費、保健衛生総務費は新型コロナウイルス感染症予防及び啓発のため全世帯に配布する不織布マスク及びエタノール消毒液購入に係る消耗品費、972万2,000円の増額でございます。農林水産業費、農業振興費は320万円の増額、感染症の影響により休業等を余儀なくされている方がアグリサポート日野での仕事に取り組む環境を整備するために、農林振興公社に対する自走式草刈り機等の機械購入補助でございます。林業総務費は410万円の増額、全国的に木材需要が減少し間伐作業量が激減しており、町内林業事業者の雇用を確

保するための宝仏山登山道整備に要する報償費310万円。また、板井原地区の未整備森林の保育間伐補助金100万円を計上しております。次に商工費、商工総務費は5,445万4,000円の増額です、需用費、役務費及び委託料は、地域の消費喚起を更に加速させるため5,000円の商品券を2,000円で販売いたします。プレミアム率150%の商品券発行事業に係る経費、負担金、補助及び交付金は。プレミアム商品券事業交付金3,000万円のほか、5月に予算化した持続化給付金の増額1,500万円、家賃支援給付金180万円、商工会が実施する飲食店スタンプラリー事業費300万円、第2波、第3波の感染拡大に備えた休業協力金250万円など町内事業者の雇用維持と事業継続を支援する補助金を計上いたしております。

続いて9ページにかけて、観光費は3,386万9,000円の増額、金持テラス日野や金持神社札所での感染拡大防止のための空気清浄機、AI搭載非接触温度センサーの備品購入費157万8,000円その他、たたらの里着地型商品造成等事業518万1,000円、リバーサイドひのでのレンタルサイクル事業補助金や、キャンプサイト整備費160万円、鵜の池公園キャンプ場整備費1,569万7,000円さらには、10月から11月の2ヶ月間日野町の魅力を町内外にアピールし、日野町のファンづくりを推進するための、いいね日野町キューピットキャンペーン事業951万3,000円計上しております。説別の金額は御覧をいただきたいと思っております。次に教育費、教育総務費、事務局費は4万2,000円の増額です、これは新型コロナウイルス感染症対策に係るアルコール消毒液の購入費です。小学校費、学校管理費は330万8,000円の増額です。需用費は各小学校のコロナ感染症対策に係る消耗品費、備品購入費は各小学校のAI搭載非接触温度センサー等感染症対策に係る備品の購入費です。教育振興費は54万円の増額、需用費は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている子育て世帯への支援として、2学期以降3月までの教材費について公費から支出をするための消耗品費、負担金補助及び交付金は小学校の修学旅行で使用するバスを3密を回避するための中型から大型に変更する額を補助するものでございます。

続いて10ページ、中学校費、学校管理費は185万8,000円の増額です。これはAI搭載非接触温度センサー等感染症対策に係る備品の購入です。教育振興費は146万3,000円の増額で、需用費は小学校費と同様に2学期以降3月までの教材費について公費から支出するための費用と、ヘッドセットの購入費備品購入費は3密を回避するために生徒を2つの教室に別けて指導する際に使用する電子黒板の購入です。社会教育費、社会教育総務費は39万1,000円の増額、これは夏休み子供教室の3密を回避するために増員いたしますスタッフに係る報償費です。文化財保護費255万2,000円の増額、3密を避けながら都合山たたら跡を訪れていた

だくことができるように、たたら街道の狭くなっている箇所を拡幅修繕するための工事請負費です。図書館費は107万8,000円の増額、感染症対策のためのAI搭載非接触温度センサー購入費です。次に保健体育費、学校給食費は370万円の増額です、備品購入費は感染症対策のための非接触型体温計の購入費、負担金補助及び交付金は新型コロナ感染症拡大の影響を受けている子育て世代への支援として8月から3月までの給食費について全額補助をするための費用でございます、説明は以上です。

○議長（小谷 博徳君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。まず歳入について質疑がありましたら。

5番、松尾信孝議員。

○議員（5番 松尾 信孝君） 歳出5ページ、財政調整基金の繰入金として558万8,000円が計上されておりますが、まず今回のコロナ対策として一時も含めて本町においてはこの財政調整基金から今のところいくらぐらい繰り入れられているかすぐにもしわかるようでしたら。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） 質問にお答えいたします、前回までの補正予算でこの臨時交付金に充てられるものを充てさせていただいておりますので。この補正時点で繰り入れさせていただきますのは558万8,000円今回のものになるかと思えます。

○議長（小谷 博徳君） 松尾議員。

○議員（5番 松尾 信孝君） 私の質問は、何故かというとは実は7月24日の地方紙に記事が載っておりまして鳥取島根の両県で、このコロナ対策として少なくとも県と市においては70億円の貯金の取り崩しがあったと一面に大々的に載っている記事があつて。これが市の財政に非常に影響を与えているということなので、本町においてはこういう財政調整基金からの繰り入れ、取り崩しが将来的にどんなふうになっていくのかということを含めて私は聞いているわけなんです。ですから今までこのコロナ対策としていくらぐらい取り崩しが繰り入れがあつたのかということについてもしわかればお伺いしたかったんですけども。

○議長（小谷 博徳君） 総務課長わかりますかね、渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） 本町におきましては、臨時交付金の示された金額これを一つの目安といたしまして、できるだけ財政調整基金を取り崩さないようにこの範囲内、範囲内というわけにはいきませんがこれを目安といたしまして予算を組まさせていただいているというところでございます。

○議長（小谷 博徳君） 一次と二次を足してどれくらい入れたかというのはわかりませんか、ざ

つとでも。いいですか、松尾議員わかりましたか。じゃあ3回目ですよ5番、松尾信孝議員。

○議員（5番 松尾 信孝君） 歳入として国庫補助金がかなりの金額が上がっているわけですが、これは議会として全てこの歳出に見合う確定した歳入であるというふうに理解してよろしいんでしょうか。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） 歳出の予算に対しましての確定額ということでございます。実施におきまして当然ながら歳出額も変わってまいりますので、それに応じて歳入も変わってまいりますけれども、予算に対しましては確定額ということでございます。

○議長（小谷 博徳君） 歳入でありませんか。無いようですので歳出に行きたいと思います、歳出は一括して歳出したいと思いますので、質問者はページと項目を言って質問していただいたらと思います。

6番、中原信男議員。

○議員（6番 中原 信男君） 6ページのですね総務管理費の企画費、この項目の報償費のことについて質問をいたします。

当初の説明よりかはちょっと若干予算が増えてますのはこの数字を見れば理解できます。そしてですねこの予算がですね、黒坂小学校、あるいは日野中学校の活用検討委員会と今後に向けてのということで、町民さんからこういう会で意見を伺うということは非常に大切な事だとは思いますが、これは否定しません。ただし、こういう予算を付けるにあたってですね私は役場内で町長、大事なことですから今後の活用についてということはやはりプロジェクトなりそういうワーキンググループなりを作っていてね、何人かでそれで役場のある意味方針なり考え方というもの若干示すべきではないかと思うんです。ある意味町民さんにばかりですね頼ると言ったらおかしいですが、最初に言いましたように意見を聞くことは大事なことです。ただし何が欠けているかと言うとやはり町からの考え方、そこをある程度示した上で叩き台としてね議論を持っていくような形を持っていかないといい方向には進まないと思うんです私は。その辺の考え方を町長どのように捉えておられるのか、そしてそういう役所内でのそういうワーキンググループなりでも検討していくという考えがあるのかこの辺をちょっと答えていただけませんか。

○議長（小谷 博徳君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 義務教育学校新設に係る廃校となる学校施設の活用についての検討会の立ち上げと併せてその前後でですね、役場内でもしっかり検討して白紙委任ということではなくって、色んな情報を持って検討会に望みなさいというようなお話だったと伺いました。まさにそ

のようにさせていただきたいと思っております、具体には企画制作が中心になるかもしれませんが、各課を跨いだ関係課の若手の方が中心でプロジェクトチームを組んで情報収集そして、具体案の選択肢の羅列という色んなもの、委員会さんの方でもですね中々すぐ例示のようなものがないと検討も中々難しいのかなと思いますので、そういったことをさせていただきたいなと思っております。ご意見は確かに承りました。

○議長（小谷 博徳君） 他に、7番、安達幸博議員。

○議員（7番 安達 幸博君） 関連質問をいたします、当初よりは幅広に日野中学校の跡に対してもするんだというこの姿勢だと思います。計算すると余命が増えたということによろしいですね、まずそのこととですねそれからこれのスケジュール感、2年もかけてやるのか1年でやるのかどういう形態でやるのか、併せて公募なのかそこら辺もお教えいただきたい。どこら辺りまで踏み込んでこの検討委員会は行い、またどんな権限というのか効力というのかね、検討委員会はこういうのをしましたと町長に具申をするのかね。町長はこのとおりを尊重してやっていくのか、そこのこの委員会の位置付けを含めて町長と担当課でもいい、位置付けについては町長答弁をお願いします。

○議長（小谷 博徳君） 埴田町長まずは位置付けについて、埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） この検討委員会の位置付けということでございます、単にその場所だけのお話ではなくてやはり町づくりに非常に関わりの深いというかその大きな要素になると思います。検討委員会でいただきました案については、尊重というんですが是非実行出来るようにしていきたいなというふうに思います。それとスケジュール感ですけども、まだ委員会を立ち上げていない状況なんですけどもできるだけ早くというような、ただ色々これ町づくり跡地利用ということになると色々なアイデアがひょっとしたらたくさん出てくる、それを精査するのに少し時間は係るのかなと思いますけれども、今年1年では中々難しいのかなというふうな感じを持っております。

○議長（小谷 博徳君） 荒木企画制作課長。

○企画政策課長（荒木 憲男君） 検討委員会の人数でございます、12名以内ということで考えております。

○議長（小谷 博徳君） どこまで踏み込んでここの議論をするかというのは誰が答えるだ。埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） ちょっと答弁漏れがあったような感じなんですけども、どこまで踏み込んでっていうのはどういう捉え方がいいのか、具体のものを提案していただく、こういうものに

していこうそういったものを出していただく、そういう委員会になってほしいなと思いますしそう期待をしとります。

○議長（小谷 博徳君） 4名の人選、荒木企画制作課長。

○企画政策課長（荒木 憲男君） 人選についてございますね、今のところですね例えば各種団体をお願いして推薦なりこういう方がいいというので出していただいております、公募という形は今のところ考えておりません。

○議長（小谷 博徳君） 7番、安達幸博議員。

○議員（7番 安達 幸博君） 充て職のようにPTA代表であるとか、例えば地区の連合会長であるとか充て職という意味だと思います。そこはそこで大事なところだとは理解をしますが、やっぱり一般の公募もね必要だと思います。そういうところに当てはまってない人でも色んなアイデアや活用の意見は持っておられますが、後でこういう例えば町長得意のパブリックコメントとかでねそういう人達の意見も吸い上げますよとかいうものがあればだけれども、やっぱりある程度の人数は公募の枠は持たれた方が私はいいと思うんですが町長いかがでしょうか。

○議長（小谷 博徳君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 色んな町づくりの関係ですと色んな関係団体さんとかそういうのも確かにございます。あとこの委員会できるだけ次の世代次の町づくりという観点非常に大きいと思いますので、関係団体であっても従前のようにその代表者っていうような方ではなくてというようにも考えております。そして今議員さんおっしゃいました公募のような全員公募にするのかどうなのかはまた別にしてそういったことも参考にさせていただきたいと思います。

○議長（小谷 博徳君） 他にありませんか、8番、佐々木求議員。

○議員（8番 佐々木 求君） 観光商工費か、日野町の持続化給付金事業18ページの下段ですね。これは一事業者に50万円の方から資金を作って支給するというものでありますが、国の基準に外れた人を救済するという意味では積極的な内容だと思うんですが。教えていただきたいのはこれまでに既に12業者が事業者が決定済みと、そして今後の見込みが28事業者という説明は受けましたが。この概要というところに説明してあります15%~49%の減少ということでありますがこれについてはどういう月、いつからいつまでの部分ちゅうのはここには指摘してありませんがこれどういう考え方で提案されとるのかそのところ教えていただきたい。

○議長（小谷 博徳君） これ課長でいいかいね、角井産業振興課長。

○産業振興課長（角井 学君） お答えいたします、町の持続化給付金事業でございますがまず前提としましては、今年の1月から12月の期間をまず判断の期間としておりましてこの15%か

ら49%は前年同月比で15から49減少した事業者さんという形で考え方で対処しております。例えば本年の6月の売上を基準に考えるということであれば、本年の6月と昨年の6月の売上をそれぞれ比較してですね15から49減少しておれば対象という考え方でございます、以上でございます。

○議長（小谷 博徳君） 8番、佐々木求議員。

○議員（8番 佐々木 求君） 1年間のうちに1ヶ月でもそういう月があればそこを見て支給するということになるわけですね、いいですかそれで、わかりました。

○議長（小谷 博徳君） 他にありませんか、2番、梅林敏彦議員。

○議員（2番 梅林 敏彦君） 関連して町独自の持続化給付金事業なんですけれども、これの周知をいかにしてやっておられるかということについてお伺いします。例えば小売業とか飲食業等については商工会が各会員さんに個別にあたってこういうものがありますよということを説明して歩いておられるようです。大変良いことだと思いますが、ではこれの対象には農業とか林業も当然対象になっているわけですが、そういう方々に対してはどのような周知をされているのかお伺いいたします。

○議長（小谷 博徳君） 角井産業振興課長。

○産業振興課長（角井 学君） 町の持続化給付金事業の周知についてのお尋ねでございます。

一般的には町の広報誌でありますとかホームページはもちろんのこと、チャンネルひのを活用しまして独自に持続化交付金の情報をですね、担当職員の方が説明をしております。また個別には、例えばJAさんとかにチラシを持っていったり、集落の方関係者が集まるような会議でですねそのチラシを配って周知するというようなことで個別に対応というものをさせてもらっています。以上です。

○議長（小谷 博徳君） 2番、梅林敏彦議員。

○議員（2番 梅林 敏彦君） そういうふうに文書とか配布資料とかあるいはチャンネルひのとかっていうのはよくわかっているんですが、必ずしもそれにすべての人が対象になる人が目を通しているわけではありません。私が当たったところによりますと、そげなもんがあるのということを聞いたことは幾つかあります。商工会さんが個別にやっておられるということですけども、例えばそのJAさんがどういう人が対象になるかっていうことはよくご存知であろうと思うので、そういう方たちがやっていただけるととってもいいなと思うんです。要するに一对一でお宅はこういうものに当てはまりませんかということを知らせてあげることが大事なことで、ある人はよく理解されていて申請されるけれども、ある人はあんまりよくわかっていなくてそのまま



になってしまうというのは良くないことだとおもいますので、その辺りのもう一つなにかの工夫というのではないでしょうかお聞きします。

○議長（小谷 博徳君） 角井産業振興課長。

○産業振興課長（角井 学君） お答えします、町がいくらこういった制度を作ってもですね町民の方事業者の方に情報が伝わってなければ意味がないということでございます。そういった事例もあるというふうなことで、この度予算の方でこの他色々事業を組み立てさせていただいておりますが、町民の方への情報提供周知につきましては色々工夫してですね考えたい、そして対応させてもらいたいと思います、以上でございます。

○議長（小谷 博徳君） 他に、1番、中山法貴議員。

○議員（1番 中山 法貴君） 8ページ、商工費の商工総務費の中でですね、地域消費喚起第2弾としてプレミアム商品券を発行するとのことですが。これ第1弾として町民向けに商品券5,000円分、お食事券5,000円分を町は発行しております。この換金業務等は商工会に委託しております町も数字は把握していると思うんですが。第2弾やるにあたりまして、第1弾現在の使用率をわかれば教えて下さい。現在どれぐらい使用されているか、第1弾が。

○議長（小谷 博徳君） 角井産業振興課。

○産業振興課長（角井 学君） 第1弾の地域応援商品券事業でございますが、現在3分の1全商品券の3分の1が換金されております。金額的には1,000万以上が地域の消費に繋がっているというふうに考えております、以上でございます。

○議長（小谷 博徳君） 2番、中山法貴議員。

○議員（1番 中山 法貴君） 商品券とお食事券の内訳わかるでしょうか、お食事券どのくらい使われているか、商品券はどれくらい使われたか。

○議長（小谷 博徳君） 角井産業振興課。

○産業振興課長（角井 学君） 申し訳ございません、その部分はちょっと把握しておりません。

○議長（小谷 博徳君） 7番、安達幸博議員。

○議員（7番 安達 幸博君） 6ページ、総務管理費、財産管理費ですね。ここに電光掲示板の予算が測量設計費も併せ1,150万円の予算化がなされております。それでこの設置場所が役場前、根雨駅に向かってだと思えますし当然根雨駅を利用された来町者の人に色々な情報提供をするという説明であります。そこでですね、この手のものを作るのにはこういう情報を誰に発信して、どんな効果を期待してするのかというのが大きな目標だと思いますが、そこをもう一度ね根雨駅を利用される人の促進だけで1,150を果たして使う必要があるのかなってという思いも

3分の2くらいはあるんです。だからどんな情報を誰にして、どんな効果を期待をするというところをもう少し明確に答弁をお願いしたいと思います、まずそこから。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） どんな目的に、誰を対象にというご質問でございます。まずコロナ関連ということで設置をさせていただくわけでございますけれども、コロナ関連ということでありますと住民の方に対しましては、役場に来られる方、根雨駅を利用される方そういった方に限られようかというふうに思います。あるいは根雨駅を利用されるのが多いのは高校生がございまずので、高校生に足してのメッセージということもあろうかと思ひます。非常にこのコロナウイルス関連の情報というのは目まぐるしく変わってまいりますし、現在県内でも感染者が発生しているという状況、これもどうやらまた新しい情報も入ってきているということで非常に目まぐるしく変わってまいります。こういったものを速やかに提供できるようにということでもってございまず、まずはそのコロナ関連ということで情報を提供させていただくわけでございますけれども、コロナだけで使うのか非常にもったいないお話でございまして、特に観光根雨駅前に置きますということで申し上げますと観光での情報を使っていきたいというふうに思ひます。従前から根雨駅を利用される方の観光情報の提供というのが非常に日野町は弱いんだというご指摘もいただいていたところかと思ひます。こういったところに回答するための装置ということで考えております。

○議長（小谷 博徳君） 7番、安達幸博議員。

○議員（7番 安達 幸博君） 何となく今のじゃあもったいないなど、こんな1,000万もかけるんですよ。もっと効果が發揮する一つ目的はJRの利用促進という部分もチラッとわかりますよ気持ちは。だけど多くの方がね本町に来られて観光とかされる場合にやっぱり車のほうが多い、とするとですねやっぱり日野町の施設である金持テラス日野等でこういった宣伝をされた方がはるかにこの1,150万の効果は上がるんだろうなと思ひます。そこの辺で設置場所に拘られますか、まずそこをお聞きしたい、あくまでもあその場所で根雨駅の利用者にするんだというこだわりがあるんですか。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） やはり駅前というところにこだわりはございまず、自動車を利用される方ということでの検討ももちろん予算編成をする段階で検討もいたしました。自動車で来られる方、自動車で通行される方に対しての情報としてどうかということで考えた時に、この掲示板の使い方としましては、この電光掲示板のいいところと言ひますのは割と多くの情報をスクロ

ールすることで提供させていただくという部分がございます。自動車で通過をされる方に向けての使い方としてはちょっとあんばいが悪いなというふうに思っておりまして、自動車で通過される方については写真でありますとかですね、ひと目でわかるような情報提供であれば効果があるかと思うんですけれども、この規模の電光掲示板であればちょっと効果が薄いかなということと通過をされる自動車を目的とすることは辞めました。一方で固定してこられる、自動車を降りて見ていただくという意味合いでは金持テラス日野なんかも非常によろしいのかなということもございましたけれども、利用する目的これはコロナ感染症対策だけではないという中で、一つには小学生、中学生あるいは、高校生などが色々活躍されるようなことがあろうかと思えます。こういった時に激励をする、あるいは何か感謝の言葉を伝える。そういったようなこともこの情報提供の一つの目的の目的として当方は考えておりましたので、やはりそういった子どもたちの見えるところということで考えますと、全てとは言うわけには行かないのはそうなんですけど、やはり根雨の町中、駅前というところを考えたところでございます。

○議長（小谷 博徳君） 安達幸博議員。

○議員（7番 安達 幸博君） 多分ね、あそこに紙の長いのでウインドウに入りますよ。日野中ソフトテニス全国大会おめでとうとかね、今までもあるからそういう類のことを電光掲示板でやりたい、重ねてやりたい、併せてやりたいということですね。それで使用とか言うことはわかりましたけれども、その効果のことがもう少し伝わってこない。これによってどういう効果を子どもたちにあたえるのか、日野校生にあたえるのか、観光に来られた人にあたえるのか、その効果のところをもう少し教えていただきたい。どんな効果を期待してそこはやるんだよというところ、これはそれぞれの部署でないとわからないところもあろうかと思いますが、設置場所については金持テラスもそういうことで検討したという経過もわかりましたので、そのことについてはわかりましたが効果についてももう少し詳しくお願いしたい。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） どうしても根雨駅から降りられた方々というのが1番に頭に浮かぶわけございまして、根雨駅改札を出られてその玄関から出られた瞬間に目に入ってくる場所ということであの場所を見たということでございます。インパクトと言いますかそういった面での効果を期待したところであります。

○議長（小谷 博徳君） 他に、3番、山形克彦議員。

○議員（3番 山形 克彦君） まずお尋ねしたいのはこの度も新型コロナウイルス対策として支出科目が多岐にわたって、備品消耗品が計上されていますがこれの要するに調達方法それから納

品時期、それからもう一つは現在備蓄用のマスクあるいは消毒液がどれほどあるのかと、これの実施後以降は要するにどの程度の備蓄が出来るのかその辺の見通しと。

それからもう1点は、保健衛生総務費で消耗品でマスクと消毒液を購入されるということになっていますけれども、これの要するに配布時期はいつ頃お考えなのか以上3点についてご答弁いただけたらと思います。

○議長（小谷 博徳君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） ご質問は各種備品とか消耗品の調達方法、それと調達時期そして保健衛生の関係の消耗品の配布時期でしたか、現在の備蓄の有高。それぞれが調達するようにはなると思いますけれども、基本的には総務課長答えられるかな。健康福祉の方の消耗品の方は健康福祉が、詳細ですので答弁させます。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） まずマスクの備蓄でございますけれども、現状2万5,000ぐらい持っております。この度この防災諸費の方で購入させていただこうと考えておりますのが、説明いたしましたけれども次の感染拡大期に市中の流通がしばらくなくなった時こういったときに備えて住民の皆様にお配りをしたいということで考えておまして、この数というのが枚数としてはかなりになります。4名以下の世帯につきましては50枚、5名以上の世帯につきましては100枚の配布ということでの備蓄を考えておりますので、この部分だけを考えましても7万3,000枚くらいの枚数になります。ということは合わせますと9万8,000枚、枚数としますと相当大きな枚数ということではありますけれども一箱50枚入の箱ということで考えますと大体2,000箱くらいの箱になるかということで考えてございます。これらの調達方法でございますけれども、まだこういう方法でと決めているわけではないですけれども金額も大きくなりますので、入札という格好にさせていただくことになるのかなというふうには思っております。調達の時期でございますけれども、これはだいぶ流通のサイクルは早くなっているというふうには伺ってはおりますけれども、予算を通していただきましたら購入の手続きは進めたいと思いますが、ではいつ届くかということになりますと現状まだいつというふうにお答えできるものはありません。

○議長（小谷 博徳君） 住田健康福祉課長。

○健康福祉課長（住田 秀樹君） お答えいたします、健康福祉課の方で予算計上させていただいておりますマスク、消毒液、これについての調達方法につきましては先程総務課長が申し述べたとおりでございます。今考えておりますのは入札になるかと思っておりますけれども総務課のマスク

購入を予定しておりますので、健康福祉課のマスクと同時に合体して入札を行おうかなというふうには考えてはおります。配布時期につきましてですが、私の方の願望としましてはインフルエンザと同時流行の時期が冬に差し掛かる頃に来ようかと思いを、なるべくそれまでには配布できるようなスピーディに納品していただいてスピーディに配布するというふうに考えております、以上です。

○議長（小谷 博徳君） 3番、山形克彦議員。

○議員（3番 山形 克彦君） 支出科目はたくさんあるけれども、基本的に入札ということをおっしゃったのでできればまとめて入札された方がコスト的に下がるんじゃないかと思いを。それからもう1点答弁がなかったのは、要するに今の消耗品と備品の調達方法、備品の部分の調達方法についても多岐にわたって支出科目に計上されてますけれども、これらの備品についても私から言えばまとめたものを同時に入札されるとかでコスト削減に努められたら如何なものかなと思いをしますが、そういった考え方は如何ですか。

○議長（小谷 博徳君） 基本姿勢、渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） できるだけできるものをそのように進めてまいりたいと思いを。

○議長（小谷 博徳君） 他に、5番、松尾信孝議員。

○議員（5番 松尾 信孝君） 7ページ総務管理費の庁舎前の電光掲示板のことについて追加で質問をいたします。

これ最初の第1号議案でも出てきたんですけど防災デジタル無線、このデジタル関係となるとですねはっきり言ってみ積もりが非常に多分不得意な分野じゃないか、故に70%とか30%ぐらいの落札率というのが出てきているんですけど、まずこれの1、100万強の予算が出てきておりますがどういうふうにしてこの金額が見積もられて今の段階でいるのか、まずそれについてお教えいただきたいのと。加えてこれはどういう形で入札をされるのか、恐らく入札だと思うんですけど、どういう形の入札になるのかまずこの辺についてお伺いします。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） 金額予算につきましてでございますけれども、あくまでこれは予算での見積もりということでございますので、ほぼほぼ通常のコスト、定価に近いものなのかなというふうに思っております。実際の購入をする段階になりましてはご指摘のとおり競争入札なりをすることになるかと思いをしますので、実際にはもっと下がってくるんだろうというふうには思っております。

○議長（小谷 博徳君） 5番、松尾信孝議員。

○議員（5番 松尾 信孝君） ですからくれぐれも、もちろん国のお金なんですけど私自身本当これが必要な事業なのかどうかという事はまだわからないんですけど。もう一つ関連してですね、1,000万かけて庁舎の前にこれがありました、情報を載せるとそれについてはある程度の御説明はいただんですけど、この情報をですね誰がどういうタイミングで更新していくのかと。何故こういうことを言っているかといいますと、非常に少ない人員の中で色々仕事をしていただいているわけなんですけど加えてこの情報発信というのは、日頃の役場の業務とはまた違うところの違う種類の仕事になってくる。これは本当にまさにさっきも答弁の中でおっしゃいましたけど特にコロナ関係では目まぐるしく情報が変わってっていると、その後の色々な観光情報とか色々なことについてもきちんとした情報の更新がなければですね、陳腐化して宝の持ち腐れ1,100万も使った事業なんですよね。そこのところについて一体どういう体制でこの機械を有効活用するというふうに思っているのか、現時点でどんなふうにお考えなのかをお伺いします。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） 提供させていただきます情報の多くはチャンネルひのでありますとか、あるいは防災無線でありますとかそういったものと共通して提供していただく情報が多いんだろうというふうには思います。それに加えて先程の観光情報でありますとか、あるいは健康上の感染の拡大でありますとかこれはコロナに限らずですね、色々な面でも感染情報とかそういった各課から上がってくるような情報もあるかと思えます。そういったところを集約してこの掲示板の方に上げていくということになりますと、窓口としては一つのほうがよろしかろうと思っております。今考えておりますのは、総務、企画これが机を並べたところにおりますのでこのいずれかでこのソフトといいますか情報を上げるものを作りまして、それを上げていくということになってまいろうかと思えます。

○議長（小谷 博徳君） 5番、松尾信孝議員。

○議員（5番 松尾 信孝君） 本当に繰り返しになりますけど、根雨駅の高校生以外の乗降客が非常に限られてますよね、ご承知だと思いますけど。そういう人達に対して一体何を発信するかっていうのはよく考えていただきたいことでもあるわけですし、本当にやっぱりこれを維持管理していく。場所も含めて先程同僚議員からも提案がありましたが、場所も含めてこの1,100万もかける事業のものがですね、妥当な場所であるのか本当にいくら国の補助金がついているとは言え本当にやるべき事業であるのか、後世のために残っていくわけですからそこもよく考えてやっていただきたいと思うんですけどその辺について町長の私はお考えをお聞きしたいんです

よ。

○議長（小谷 博徳君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 電光掲示板について色々なご意見いただきました、予算提案をいたしておりますのでこのとおりにやってまいりたいと思います。

○議長（小谷 博徳君） 他に、6番、中原信男議員。

○議員（6番 中原 信男君） 6ページですね、社会福祉費の中の社会総務費、大学生大学生生活支援給付金事業。

私はこの事業は本当に日野町として優しい事業だなと関係者の方はお喜びになられると思います。そこでですね2つほど確認をさせてください、令和2年7月1日現在で日野町に住所を所有される方ということは、保護者の方で理解していいのかということ。それとですね、この本当に大学生あるいは専門学校、短大あらゆる学生を対象にしてですね、約説明では80人それからちょっと増えるかもわからないということで予算計上をされて、非常に優しい給付事業。確認はね2つほどありまして、保護者への周知はどういう形でやられるのか関係者の保護者。それと給付を受けられる当事者、学生さんに対しての給付決定等の方法これを教えていただきたいんです。それでこの事業の目的としてこういうコロナ禍の中で、日野町からの支援を受けたという思いを強く持って将来に日野町と強い関わりを持ってもらうために計上した予算だという説明がありますが、非常に大事な事業だと思います。最初に申し上げた2点についての質問に対してお応えください。

○議長（小谷 博徳君） 住田健康福祉課長。

○健康福祉課長（住田 秀樹君） 質問にお答えいたします、まずはじめの質問でございます令和2年7月1日現在の住民登録が保護者かどうかという質問であります、保護者でございます。

続きまして2つ目でございます、保護者の方への周知をどうするのかということでございます。この事業を組み立てる上でですね、この周知の問題が一番こちらとしてもどうやって周知をすのかなというところで中々把握が難しいという部分がございます。ただ今現在言えることといたしましては広報ひの、チャンネルひの、防災無線、その他使える広報媒体はすべて使って広報周知の方をしたいというふうに思っております。それから給付の方法でございます、先程議員さんからもありましたけれどもこの事業の目的といたしまして、もちろん大学生等の不安解消でありますとか保護者さんへの経済負担の軽減というものがありますけど、この支援をすることによって故郷である日野町が支援してくれたというふうに学生さんにも認識していただく、でこの後強い関わりを持っていただくということが目的の一つでありますので、例えば保護者に出します給付

の決定通知をこの写しを学生さんの方にも送らせていただくとか、何かしらの形で学生さんの方にも周知をさせていただきたいというふうに思っております、以上です。

○議長（小谷 博徳君） 他に、7番、安達幸博議員。

○議員（7番 安達 幸博君） 9ページ、教育振興費3万6,000円についてお尋ねをいたします、これは小学校、黒坂小学校、根雨小学校が共同で修学旅行に行く時にバスを中型からコロナ対策として余裕のある大型化にする追加の予算だということでお聞きしております。ぜひともそれは小学生にとって修学旅行は大きな思い出の一つであり社会勉強の一つでもあるので、ぜひこういう対応で事業を消化してほしいと思うんですが、一方中学校については今まで従来は東京への修学旅行ということで、中止になったということをお伺いしておりますが併せてこの中学校の今後のまったく中止なのか、あるいは方法を変えてどこかにするのかその方針をお聞きしたいと思います。

○議長（小谷 博徳君） 砂流教育課長。

○教育課（砂流 誠吾君） 中学校の修学旅行を今後どうするのかというお尋ねでございます。そもそも修学旅行はそれぞれの学校の教育課程に則った行事でありますので、その目的、狙いというものきちんと果たせる、それをすることによって子どもたちに学びが深まるということが条件としてございます。そういったことを含めて中学校の方で検討をしていただくというふうにしておりますので、現在、その後変更して実施するのかそのまま中止にするのかというところまで決まっているというふうには伺っておりません。

○議長（小谷 博徳君） 他にありませんか、質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより日程第5、議案第42号、令和2年度日野町一般会計補正予算（第3号）の採決を行います。

この採決は起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第42号は、原案のとおり可決されました。



○議長（小谷 博徳君） 日程第6、議員派遣の件を議題といたします。

今後予定されております、議員派遣の件についてはお手元に配布しております、文書のとおりであります。

議員派遣の件について、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 異議なしと認めます。

よって議員派遣の件は別紙のとおり決定いたしました。

---

○議長（小谷 博徳君） お諮りいたします。以上で本臨時会に付議された事件は全て議了いたしました。

よって、会議規則第7条の規定により閉会いたしたいと思っております。これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 異議なしと認めます。

以上で令和2年第5回日野町議会臨時会を閉会いたします。御協力ありがとうございました。

午前11時28分閉会

---